

四号館通信

10/6

明大金英斗 四号館統一戦線書記局

11/7

[1] 10/6 大衆団交に於て当局のロシクアウト運動を

粉碎せよ！

我々は10月の全學集会を左倒的出発の遂行をもって解散して来たがそれは當面の数日間に限つて當局のロシクアウト運動を起させたにすぎない。我々をめぐる状況は仍明太当局の中にあるのではなく、すでに大學立法の實業以降全国の團體のパリケードは權力の圧倒的海軍軍体制背景に11月に向けて大學立法を「」に活用したブルジョアジーの政治權力總体との対峙關係に入っているのである。従つて當局内部の過急一致も1月戒嚴体制というブルジョアジーの興味の中でさほほんに時間の問題でしかないし正しく我々のパリケードも強化してゆかなければならぬ。當局は之の様な状況と以て我々が対決してより前に自らの階級問題をかきのが現在のブルジョアジーの帝國主義的大勢の再編の中でその社会的反乱の今日の意義を各民主的體制との対決を盾にブルジョアジーの価値觀を崩壊せしむる全人民的な政治斗争に11月佐藤新内閣上に對して自ら階級的社會的領域に於ける資本制秩序への反乱と政黨領域に於ける自身體制と階級と全體的区别に於て諸階級階層との政治的結合を展開してゆかなければならぬ。

[2] 10/6 大衆団交を 11/6 へ向けて總決起集会

とせよ！

17年の修業斗争以降新左翼諸潮流及公全共斗の全社會的登場の中でとの非和解的斗争の隊列は幻想共同体としての「民主主義概念体制」の支柱である權力構造の暴力とイデオロギー科学の階級性を暴露せしめることにより自己としていたに政治勢力へと変化させつある従つて權力の彈圧はすでに狂氣化し現在の局部的權力總体の反撃周圍として11月戒嚴令体制の廻りにあつた。だがこのことは同時に11月へ向けてとの諸階級諸階層のより階級的分化をもたらすたる階級一敵線を確立準備することであり、社會党、自由の11月かい避難線たもかかわらず、反帝労働者の結集は一層拡大しつつありその中で一年半にわたる團體斗争の中で勝ちと敗りつつある全国金英斗が自ら階級團體の形を政治斗争に發揮させ労働者との革命的連帶を強調するカードと労働者の道徳リストとしてその結合である街頭に於ける政治斗争として条件

[3] 全国金英斗の一夏と組む11月斗争へ向けた明大金英斗を創出せよ！

何てゆく所にが餘り多くつづく事である。
自大學立派精神リーダーとして人材を供給される、其者自身に於て階級問題の徹底化と全国金英斗造成によるがゆうて今年夏季の組織的問題は困難至極、とのタイナックの運動的構造が路線斗争と階級斗争と常に三元化する傾向にあり明大に於ける是、金英斗の問題まさにこの点である。
として11月旬から始まる新内閣の過程を踏み集會局の協同行動を通じて統一金英斗を勝ち取るものと會議を行つて来たが、我々は毎日金英斗と11月斗争に日々争ひ、11月政治斗争へ向けて金英斗の頃へ自らの階級問題を權力總体からどうぞ逃れてゆき、ロシクアウト運動との対決によつて統一金英斗を確立してゆかなければならぬ。